

<現職の教諭等※としての勤務歴>

ふりがな	きょうと みやこ	生年月日（和暦）	平成 2 年 12 月 30 日
氏 名	京 都 みやこ	採用年月日（和暦）	平成 25 年 4 月 1 日
在職期間（和暦）	勤務校名	備考 （担当校種・教科、兼務校等を記入）	
平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	〇〇市立〇〇小中学校	小学校籍	
平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	〇〇市立〇〇中学校	英語担当、〇〇市立〇〇〇〇〇〇小中学校 兼務	
令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	〇〇市立〇〇小学校		
令和 3 年 4 月 1 日～ 現在に至る	〇〇市立〇〇小学校	特別支援学級担任	
現在の勤務校が一番下になるように、 上から時系列で記載してください。		現職教諭特別選考の要件や、希望する 特例の要件を満たしていることが分かる ように、可能な限り記載してください。	
行が足りない場合は 追加してください。			

※教諭等とは、教諭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、任用の期限を付さない常勤講師（日本国籍を有しないものに限る。）を指す。

休職期間	・平成26年10月1日～平成26年12月31日 病気休職
その他特記事項	産休・育休については「休業」となるため、休職期間への記載は不要です。

上記のとおり、在職していたことを証明する。

在職証明書の日付は、令和6年4月1日以降としてください。

令和7年4月1日

教育委員会（都道府県、市町村等）や学校法人等、任命権者による証明が必要です。任命権者でない者（例：校長等）により証明されたものは認めませんのでご注意ください。

(例1) 〇〇県教育長 京都太郎

〇〇県
教 育 長
(印)

(例2) 〇〇県教育委員会

〇〇県
教育委員会
(印)

※できる限り1ページ以内におさめること。